

2016B 期において実施された SACLA 利用研究課題（共用課題） について

登録施設利用促進機関
公益財団法人高輝度光科学研究センター
利用推進部

2012 年 3 月より供用運転が開始された SACLA では、第 10 回目の利用期である 2016B 期の利用研究課題（共用課題）が、2016 年 9 月 23 日から 2017 年 3 月 6 日にかけて実施されました。この期間において、ビームライン BL1、BL2 または BL3 にて計 43 の利用研究課題が実施され、ビームタイムは計 197.26 シフト（1 シフト＝12 時間。成果専有利用は 0.17 シフト＝2 時間単位）が利用されました。

実施課題は、一般課題（成果非専有利用／成果専有利用）、重点戦略課題（成果非専有利用のみ）、および、時期指定課題（成果専有利用のみ）の大きく 3 種類あり、それぞれ表 1 のとおり国内外機関所属の実験責任者により実施されました。当該期より新規利用制度として導入された時期指定課題においては、1 課題／0.17 シフト（2 時間）が配分のうえ利用されました。

なお、これらのほか、同ビームラインにおいて JASRI スタッフによるインハウス課題が計 4 課題実施され、ビームタイムは計 12 シフトが利用されました。

実施課題の課題名は、以下の Web サイトに掲載しています。

◆ SACLA User Information

- > SACLA 利用案内 > 採択課題／実施課題
- > 実施課題一覧 > 2016B

http://sacla.xfel.jp/wp-content/uploads/sacla_performed_proposal_2016b_j.pdf

※ 2016B 期の実施課題は、2017 年 5 月 19 日に公開。

また、利用課題実験報告書（Experiment Summary Report：成果非専有利用のみ）は、以下の Web サイトに掲載しています。

◆ SACLA User Information

- > 成果等検索 > 利用課題実験報告書検索

<https://user.spring8.or.jp/uisearch/expreport/ja>

※ 2016B 期の報告書は、2017 年 5 月 19 日に公開。

成果は、課題実施期終了後 3 年以内に、査読付き原著論文等で公開されます。

公益財団法人
高輝度光科学研究センター 利用推進部
TEL：0791-58-0961
e-mail：sacla.jasri@spring8.or.jp

表 1 2016B 期 SACLA 利用研究実施課題

課題種	産業界		大学等教育機関		国立試験研究機関等		海外機関		合計		
	実施課題数	実施シフト数	実施課題数	実施シフト数	実施課題数	実施シフト数	実施課題数	実施シフト数	実施課題数	実施シフト数	
一般課題	(成果非専有利用)	2	8	6	30	8	47	4	16	20	101
	(成果専有利用)	1	0.17							1	0.17
重点戦略課題（成果非専有利用）			12	59.92	5	19	4	17	21	95.92	
時期指定課題（成果専有利用）	1	0.17							1	0.17	
合計	4	8.34	18	89.92	13	66	8	33	43	197.26	

○実施課題を実験責任者の所属（産学官 海外）で区分。

○1 シフト＝12 時間、0.17 シフト＝2 時間。

○延べ来所者数は計 650 人。